

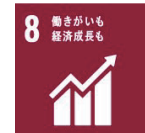
障がいの社会モデルを学ぼう！

「総合的な探究の時間」などの授業でご活用いただける、障がい者理解を目的とした教材を無料でご提供します。活用を希望される場合は、裏面の申し込み方法をご確認ください。

目的

- 障がいの有無に関係なく、それぞれが自分らしく活躍できる共生社会をつくっていくことの大切さに関する学びを提供します。
- 「障がいの社会モデル」を知ることを通じ、障がいの有無に関わらずそれぞれが活躍できる社会の実現に向けて、自分にできることを考えます。
- SDGsの目標8「働きがいも経済成長も」、目標10「人や国の不平等をなくそう」といった課題について考えることのできる内容になっています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



対象学年

主として高校生 ※中学生向けにもご活用可能です

教科等

「総合的な探究の時間」など

内容

- 先生方に授業を実施していただきやすいよう、授業用動画、生徒用ワークシートとともに、指導案をご用意しております。
- 50分の授業で実施することを想定し、下記の内容で構成しています。

参考動画はこちらから
ご視聴いただけます



1 パラアスリートの日常生活から考えよう

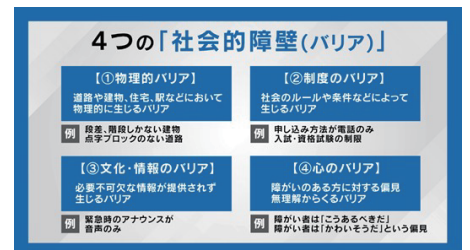
パラスポーツと仕事の両立に挑戦し続けるパラアスリートの方の日常生活を知り、障がいがある日常で生じる困難や障がいを困難と感じないために必要なことを考える。

2 「障がいの社会モデル」の考え方を知ろう

障がい者権利条約や障がい者基本法で基本的な考え方として採用されている「障がいの社会モデル」を学び、理解を深める。

3 障がいを社会モデルでとらえ直してみよう

様々な障がいを抱えながら働いている人の事例をもとに、「障がい」を社会モデルでとらえ直し、どのように障がいを解消できるかを考える。また、社会全体で障がいをなくしていく姿勢を学び、自分にできることを考える。



ご活用いただいた先生からの声

今回の授業によって、生徒たちは自分の生活に照らし合わせ、障がいに対して自分にできることを想像しながら学びを深めることができているのではないかと思います。学んだことを生徒同士で主体的に広げ、自分たちの生活を考えてもらえたらと思います。

障がいについて考える貴重な時間となりました。授業終了後に、教室内で生徒同士の意見交換もあったようです。今後の探究活動にも生かしていけたらと考えています。

授業を受けた生徒からの声

例えばスポーツをする場合も、ルールを工夫すれば障がいの有無に関わらず一緒に楽しめることに、あらためて気づくことができました。こうした考えが世界に広まれば、障がいという言葉そのものがなくなるのではないかと感じました。

これまで「障がい」は、当事者が持っているものだと思っていましたが、今日の授業で障がいはその人だけのものではなく、社会にあるバリアから生まれると知り、障がいない人を前提にした社会のあり方や人々の意識を変えたいと感じました。

ご活用にあたっての留意事項

- 弊社における教材の改善や弊社ホームページ等での広報に活用するため、授業を実施いただいた先生や児童生徒の皆様にも、可能な範囲でアンケートへのご協力をお願いしております。詳細は教材の提供時に別途ご依頼させていただきます。
- そのほか、弊社の障がい者理解推進を目的とした活動である「パラリング」のホームページ等で本教材の活用事例を紹介するため、授業の様子や実施した感想等についての取材へのご協力を依頼させていただく場合があります。



パラリング
Para Ring

【教材の申し込み方法】

右記、QRコードから申し込みフォームへアクセスいただき、お申し込みください。

※QRコードにアクセスできない場合は、下記お問い合わせ先へ、メールでご連絡ください。

